

技術委員会のご紹介

ヘッドディスク部会

部会での交流やワークショップを通じ、研究・開発、製造、検査も含めた技術トレンドのリサーチ、技術および装置のロードマップ作成、および規格検討等の活動を行っています。

また、これまで二回に渡って（初版本および改訂版）ストレージ用語辞典の編纂に積極的に参加協力してきました。

コンシューマHDD部会

HDDレコーダーに代表されるコンシューマ機器特有のHDDの用法や、そのために必要な信頼性評価方法の規格・標準化に関する活動を行っています。

（車載HDD&リムーバブルHDD部会は、コンシューマHDD部会傘下にて今後の活動計画を検討しております。）

ESDコントロール部会

磁気ヘッドに代表されるナノデバイスのESD/EMIコントロール技術の調査、検討とアプリケーション提案によるESD測定・評価技術の標準化推進活動を行っています。また、ESD / EMIコントロールに関する計測器、静電材料、評価技術についてワークショップを開催しています。

コンタミネーションコントロール部会

コンタミネーションコントロールおよび関連技術としてクリーンテクノロジー、分析技術に関する技術検討を行なっています。併せてスタンダードの制定・改版および関連技術のワークショップを行なっています。

データ復旧部会

データ復旧サービス会社が急増し、選択困難の状況に対応するため、HDD技術者集団の協力を得て、本部会を設置し、統一基準の作成、復旧技術の向上、エンドユーザ啓蒙活動を行い、ストレージの理解とデータ喪失未然防止活動を進める。

環境委員会のご紹介

近年、地球環境問題への対応は事業遂行上極めて重要であり、HDD業界もこれに適切に対応することが必要です。

環境委員会では、化学物質規制である、RoHS (Restriction of Hazardous Substances)、REACH (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals) を始め各種環境問題に対して、法規制解釈の統一・周知徹底、個別企業の負荷低減及び情報伝達の標準化に向けた活動を行っています。なお、この活動はUS及びAPのIDEMAと連携した世界レベルの活動であり、決定事項は世界中のIDEMA会員企業に周知されます。

IDEMA JAPANの運営

IDEMAの組織は、1987年に米国 (IDEMA USA) で組織され、1992年に日本 (IDEMA JAPAN)、1994年にシンガポール (IDEMA ASIA PACIFIC) で組織され、活動・運営を行ってまいりました。2005年にはグローバルIDEMAとしてUSA、ASIA PASIFICの各IDEMAと組織上も一本化されて国際的に活動を展開しております。

IDEMA JAPANは会員企業の代表者からなる理事会によって運営され、会員企業の研究・開発・製造等に従事するメンバーにより組織された技術委員会では、会員企業の皆様のニーズを反映させた様々な委員会活動を展開しております。また、会員企業はUSA、ASIA PASIFICも含めた展示会、フォーラム、教育講座等の各行事に割引料金でご参加いただくことができます。入会のお申し込み、お問い合わせは下記までお願い申し上げます。

入会お申し込み、お問い合わせは

**IDEMA
JAPAN**

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-9 ワタルビル6階
Tel : 03-3539-7071 Fax : 03-3539-7072
URL : <http://www.idema.gr.jp/>
Mail : info@idema.gr.jp

IDEMA[®] JAPAN

日本HDD協会

International Disk Drive Equipment and Materials Association

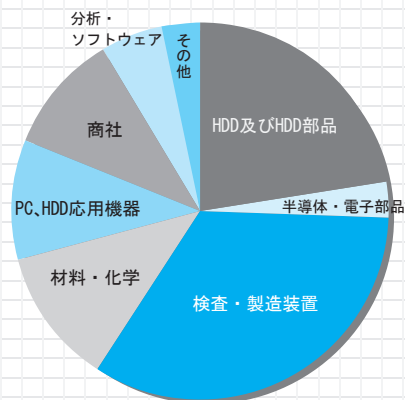
ご案内

IDEMA®は、ハードディスクドライブ関連業界の 発展・活性化に貢献しています

IDEMA JAPAN(日本HDD協会)は、HDD(ハードディスクドライブ)業界の健全な発展を目指した非営利団体です。

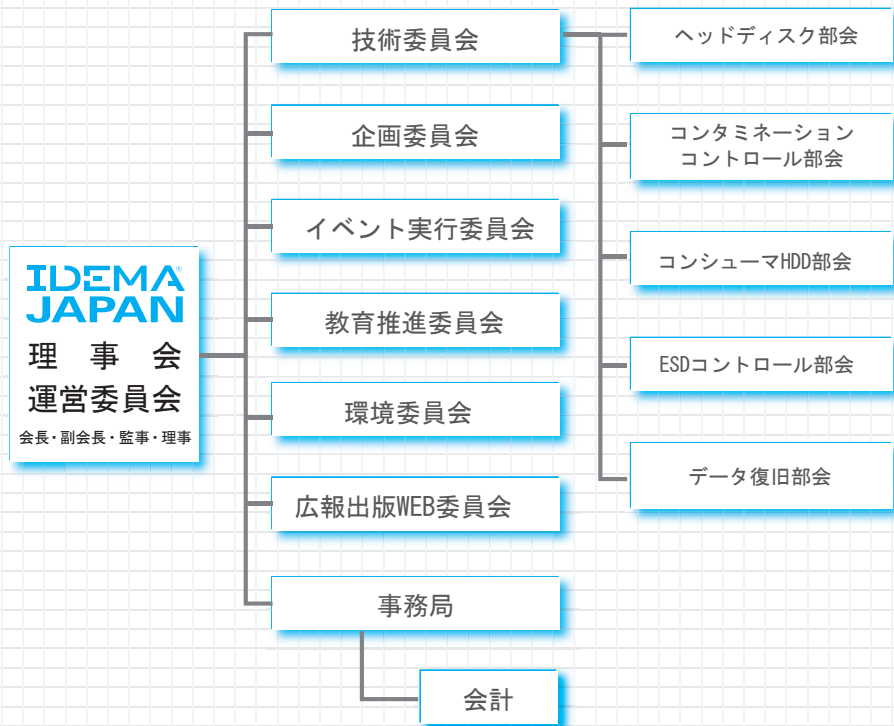
本協会にはHDDメーカーはもちろん、ディスク、ヘッド、モータ等の部品メーカーや、サブストレートやマグネット等の材料メーカー、チップを提供するICメーカー、そして検査・製造装置メーカー、さらにはこれらを取り扱う商社などが参加しており、HDD業界に関連する全ての企業が結集していることが特長です。

本協会は、業界の発展および交流促進を目的とした活動を行っており、IDEMA USAやIDEMA ASIA PACIFICとも連携してグローバルに活動を展開しております。



IDEMA JAPAN会員企業の構成割合

IDEMA JAPAN 組織図



IDEMA JAPANの活動内容

DISKCON JAPAN / 国際ディスクフォーラム

話題の最新技術から市場動向まで、国際的なメンバーで構成された
トップレベルの講師が講演

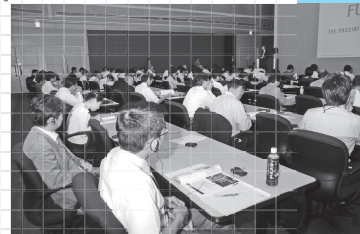
DISKCONは、ディスク関連業界唯一の展示会で、IDEMA主催の年間行事で最大のもです。現在、米国では9月、シンガポールでは3月、日本では7月に開催。3つのDISKCONがリンクされることにより大変有意義なものとなっており、新技術や製品の発表の場であると同時に、国際的な情報交換や交流の場となっています。また、同時に国際ディスクフォーラムを併催。国の内外から多数の講師を招聘し、話題になっている最新技術や今後の市場動向など、様々なテーマで講演を行っております。業界のトップを交えた交流が、相互理解をいっそう深めるのに役立っております。



クォーターリーセミナー

業界内の相互親睦を目指した年3回のセミナーは、
交流の促進と業界全体の技術向上を促します

話題性のある最新技術の発表、またユーザーとサプライヤーを交えて問題点を討議するために、毎年1月・4月・10月に開催しているクォーターリーセミナーは、業界内の親睦を目指したもので、ディスクやヘッドなどの製造に関する技術的諸問題に対する各社の取り組みから、市場動向の予測、さらにはHDDを中心とした最新のストレージおよびストレージアプリケーション情報までをカバーしております。セミナー終了後に行われる賞詞交換会/懇親会は、まさに参加者と講演者を交えた相互の親睦と情報交換の場です。



教育講座

入門から中級、専門技術までを網羅した、
充実した内容の教育講座を定期開催

入門・中級・専門と、受講者のニーズに合わせたHDD教育講座を開催しています。
入門講座：初級技術者やHDDの基礎知識を習得したい方々を対象に、基礎的な技術をわかりやすく習得するための講座です。
中級講座：HDDを構成する要素部品や技術全体をカバーし、さらに最新先端技術についても解説する、中級技術者の方々とHDDに関する幅広い知識をより深く学びたい方々を対象とした講座です。
専門講座：HDDの技術分野に携わっている研究者、技術者を対象とした、メカ・サーボ、トライボロジー、信頼性などの専門的なテーマの講座です。
SSD入門講座：HDDおよびその応用製品事業、サーバ事業などに携わっている方々やSSDに関する幅広い知識を学びたい方々を対象にした講座です。

IDEMA JAPAN NEWS

電子出版のニュースとメールマガジンで、
HDDを中心としたストレージ業界の最新情報を配信

技術部会での討議内容や、ワークショップで発表された研究報告などの技術的な内容はもちろん、市場動向や協会の活動報告まで、様々な内容の記事を隔月更新でウェブサイト上に公開しております(技術部会ワークショップ・研究報告等は会員のみ閲覧可)。また、メール形式のニュースも配信。HDD業界の動向から新製品情報まで、即時に入手することが可能です。

各種規格の検討

IDEMAスタンダードは、
HDD業界全体の国際規格として育ちつつあります

IDEMA USAを中心として、これまでも2.5インチHDD、1.8インチHDDの基板スペックをはじめとした業界の標準規格を取りまとめてきました。現在までに40件以上の規格が制定されています。IDEMA JAPANでも技術委員会がディスクとヘッド、コンタミネーションコントロール、コンシューマHDD、ESDコントロール、データ復旧部会などの専門部会を設けてテーマを定め、IDEMA USAおよびIDEMA ASIA PACIFICと情報を交換しながら、技術的検討や規格案の討議を行っております。